

ミクロとマクロでみる公共施設の在り方

第17回 全国サミット



2025.1.22 WED @ベルサール東京日本橋

第1部 14:00

- 01 主催者挨拶
- 02 イントロダクション
- 03 特別基調講演
日本財団 笹川陽平様
『日本の将来は危ないか?』

第2部 15:40

- 04 事例発表
ーミクロ視点 宮城県加美町
ーマクロ視点 北海道大樹町
- 05 全国指導者会からの依頼事項
- 06 第21回教育長会議報告
- 07 B&GフレンドシップPROJECT
中間報告 など

第3部 16:45

- 08 優良センターアワード
- 09 全国サミット共同宣言

公益財団法人B&G財団

Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

主催者挨拶



公益財団法人 B&G財団 会長
まえだ こうきち
前田 康吉

第17回「B&G全国サミット」開催にあたり

本日は、第17回「B&G全国サミット」を開催いたしましたところ、公務ご多忙のなか、全国379の海洋センター所在自治体から、多くの皆様にご出席を賜りました。主催者を代表し心より厚くお礼申し上げます。

また、ご来賓として、日頃からB&G財団に多大なご支援をいただいております日本財団 会長 笹川陽平様をはじめ、多くのポートレース関係団体の皆様にもご臨席を賜り、重ねて厚くお礼申し上げます。

笹川会長には、「日本の将来は危ないか?」と題した、特別基調講演を行っていただきます。大変お忙しい中、ご講演いただきますこと、改めて感謝を申し上げます。

さて、今回の「B&G全国サミット」は、「ミクロとマクロで見る公共施設の在り方」をテーマに開催いたします。

近年、人口減少や過疎化など、社会状況の変化による公共施設の統廃合が進む中、自治体の総合計画においても、機能や役割を見直す施設を多く抱えているかと思えます。

本会議では、社会体育施設である海洋センターに新たな設備と機能を追加しアップデートした事例と、海洋センターを「移設」し、自治体の実情や総合計画に沿った役割を新たに追加した事例について、それぞれ首長様から発表をいただきます。各自治体においてB&G海洋センターが果たせる役割について、今一度考えて頂く機会にしていいただければと考えております。

おわりに、B&G財団は、多様化する社会課題の解決に向け自治体の皆さまと共に考え、さらなる地域の発展のため、「青少年の健全育成」と「地域活性化と地方創生」を理念とし、これまで以上に多岐にわたる事業を全力で邁進していく所存です。

また、「能登半島地震」で被災し、復旧・復興に取り組む自治体の皆様に寄り添い、引き続き、海洋センター所在自治体、B&G指導者のネットワークがあるからこそできる支援を継続してまいります。

特別基調講演



ささかわ ようへい
笹川 陽平 様

日本財団 会長
笹川平和財団 名誉会長

笹川陽平オフィシャルブログ：
<https://blog.canpan.info/sasakawa/>
1939年 1月 8日 東京生まれ

「日本の将来は危ないか？」

アジア最大規模の財団のトップとしてアジア、アフリカ、南米などを訪れ、国際的な課題解決に力を入れている。徹底した現場主義にもとづく草の根の取り組みを続ける一方、各界の世界的リーダーとのネットワークを駆使し、具体的な成果にこだわる活動を信条としている。海外での活動は年間120日以上にのぼる。

人類の历史上最も古くから知られ、恐れられてきた病気のひとつ、ハンセン病の制圧にむけて40年以上にわたり世界各地の療養所を訪問するなど現場での活動を続けている。病気の制圧だけでなく、長年厳しい差別に直面してきた患者や回復者の人権回復を国際社会に働きかけ、国連総会で「ハンセン病差別撤廃決議」の採択を実現させた。

海に囲まれた日本にとっての海洋の重要性を提唱し、日本財団として、これまでに140カ国1200人を超える海洋専門家を養成してきた。2018年には、現在15パーセントしか解明されていない地球の海底地形図を完成させるという世界初の試みをスタートさせた。

70年以上にわたって内戦が続くミャンマーでの国民和解に向け、日本政府代表として中央政府と少数民族武装勢力の話し合いの仲介役を務めている。少数民族武装勢力の支配地域で復興支援活動が許される外国の組織は現在、日本財団だけとなっている。

国内では障害者への支援を幅広く展開するほか、生きにくさを抱える子どもへの支援や、パラリンピックに向けたパラスポーツの支援と啓発活動など、インクルーシブな社会の実現に向けて精力的に取り組んでいる。

国際法曹協会「法の支配賞」(2014)、国際海事機関「国際海事賞」(2014)、ガンジー平和賞(2018)、文化功労者(2019)、旭日大綬章(2019)、など多数受賞。

著書『世界のハンセン病の現場からー地球を駆けるー』(工作舎)、『残心 世界のハンセン病を制圧する』(幻冬舎)、『愛する祖国へⅠ・Ⅱ』(産経新聞出版) など多数。

- 日本財団会長(2005年7月より現職)
- 笹川平和財団名誉会長(2016年7月～)
- WHO(世界保健機関)ハンセン病制圧大使(2001年5月～)
- 日本政府ハンセン病人権啓発大使(2007年9月～)
- ミャンマー国民和解担当日本政府代表(2013年2月～)



特別基調講演



経年劣化等により老朽化した施設の機能保全やバリアフリー化などの機能向上を目的とした修繕に対し、改修費用の一部を助成する制度。

通常修繕、災害復旧修繕に加えて、艇庫・プールの建替や移設等に対する特別措置、10年・15年連続【特A評価】の海洋センターに対する優遇措置などがあり、海洋センターの安全性と快適性を高め、地域住民の健康・コミュニティづくりの拠点として、利用者の拡大を図る。

●助成限度額一覧

修繕の種類	対象	体育館	プール	艇庫	助成率上限	助成の対象となる修繕内容(例)											
						原状復帰			多機能化								
① 通常修繕 (2001年度以降の助成額累計)	特A・A	3,000万円	3,000万円	1,000万円	特A：70%以内 A：60%以内	照明LED化	プールサイド改修	ろ過機の更新	ボルトナット設置	学習スペース設置	更衣室設置	缶体塗装	バリアフリー化	トイレ改修	多目的ホール設置	リラクゼーションプール設置	トレーニングルーム設置
② 災害復旧修繕	特A～D	3,000万円	3,000万円	1,000万円	保険対象除き 70%以内	台風の影響	雷の影響	地震の影響	建て替え	移設	用途変更	艇庫の多目的な利用が可能な 複合的施設への改修					
特別施設整備	特A～D	3,000万円	3,000万円	1,000万円	50%以内												
艇庫特別措置	特A～D	-	-	5,000万円	50%以内												
③ プール特別措置	特A	-	1億円	-	80%以内							①屋内温水化による半年以上の開館					
10年連続特A優遇措置	特A	3,000万円(複数施設同時申請可)			80%以内							②学校利用が可能なプール施設への改修					
15年連続特A優遇措置	特A	5,000万円(複数施設同時申請可)			80%以内												
						大規模改修											

誰もが「利用できる」から 「利用したくなる」施設へ

～修繕助成制度を活用して、こんなにも素敵な海洋センターに
アップデートされています！～



川根本町本川根B&G海洋センター
ロビー



赤磐市吉井B&G海洋センター
多目的ホールの新設



日田市天瀬B&G海洋センター
外壁



蔵王町B&G海洋センター
観覧ギャラリーの設置



雲南市加茂B&G海洋センター
プール観覧席



中津市耶馬深B&G海洋センター
食堂新設



小美玉市小川B&G海洋センター
スロープ設置



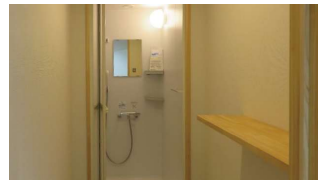
下條村B&G海洋センター
ボルダリング設置



大空町女満別B&G海洋センター
キッズスペース



大野市B&G海洋センター
外壁表示



津山市加茂B&G海洋センター
シャワー室



山田町B&G海洋センター
外壁

4

イントロダクション

次世代型海洋センター艇庫 を活用した先進的活用事業

これまでの海洋性レクリエーション体験施設としての「艇庫」だけでなく、「艇庫」を核とした複合的な活動を推進している。

そこで、全国のモデルケースとして修繕助成制度の「艇庫特別措置」を活用し、艇庫の大幅な改修を行った海洋センターにおいて、自治体とB&G財団、そして地域の民間団体などと連携を図り、改修前後の住民周知イベントや、海レクにとらわれない様々な教室を企画・実施することで、先進的な活用を図る事業。

事業のしくみ



支援内容

海洋性レクリエーション器材はもちろん、イベントや教室の開催に必要な備品など、支援内容は多岐に渡る！

●これまでの支援実績●

- ①海洋性レクリエーション器材
カヌー・SUP・パドル・バナナポート・救助艇用ゴムポート・マリッジット 等
- ②教室・イベントの開催に必要な備品・消耗品
スクリーン・室内用遊具（キッズスペース等）・参加者記念品・スタッフ用食卓 等
- ③教室・イベントの告知や集客に関わる費用
チラシ・ポスター作製費・のぼり 等
- ④講師や看護師への謝金・委託費

上記の費用約200万円を2年間、
合計約400万円分支援！

海レク体験
×
地域の特色を生かした事業

組み合わせは
無限大！！

事例 1 徳島県阿南市那賀川B&G海洋センター

海レク × 通年型教室 文化活動

海レク体験のみならず、音楽や料理などの文化的な教室や、海を学ぶ教室などを一年を通して開催が可能な施設へ！
【支援内容】 SUP・カヌー・マリッジット・各種教室に必要な備品等

事例 2 長崎県時津町B&G海洋センター

海レク × 大村湾を活用した海洋教育

子どもたちや地域住民が地元の海にさらに親しみを持てるような、海洋教育の拠点となる施設へ！
【支援内容】 SUP・水上すべり台・スクリーン・マット・テーブル等

事例 3 千葉県香取市山田B&G海洋センター

海レク × 周辺施設との共同利用促進

周辺の公園や体験学習施設との一体利用を促進し、幅広い世代を対象に海レク以外も楽しめる施設へ！
【支援内容】 水上サイクル・足漕ぎポート・テント・スタッフシャツ等

イントロダクション

5



海洋クラブ

「B&G海洋クラブ」は、マリンスポーツの実践活動や水辺の安全教育を通じて、青少年の健全育成を図るとともに、地域活性化など社会に貢献する活動を行う団体。
また、2022年度から、学校授業や課外活動、地域のサークル、成人クラブなど、水辺の活動を行っている小規模団体等に支援を行う「B&Gサポーター」を新設。
海洋クラブ・サポーターとして登録する団体は、水辺（海・川・湖）のフィールドにおける活動（マリンスポーツや海洋教育、環境保全活動など）を手法として、青少年の育成や地域貢献活動等の非営利な活動に取り組む自治体や団体（NPO法人や総合型スポーツクラブ、任意団体など）を対象としている。

函館水産高等学校B&G海洋クラブ (北海道北斗市)

- 活動水面：北海道函館市緑の島
- 海洋クラブ登録年：2021年度
- 主な種目：ボート
- 母体団体：函館水産高校ボート部（部活動）

一部活動から海洋教育の普及へ

高校のボート部が運営母体となっており、観光地として有名な北海道函館市の赤レンガ倉庫にほど近い人工島「緑の島」を拠点に練習を行っている。メンバーが中心となって、市民にSUPやカッターボートを体験する機会を提供することで、生徒たちのキャリア教育と地域貢献活動につなげている。

水産業の未来を担う水産高校が海洋クラブに登録！

数字...B&G海洋クラブ登録数（※休部中含む）
センター付海洋クラブと一般海洋クラブを合わせた数



291
海洋クラブ

優良一般海洋クラブに対する優遇措置...
特に顕著な活動を行っている模範的な優良一般海洋クラブに対し、最大300万円追加で支援！

HONKI University B&G海洋クラブ (神奈川県藤沢市)

- 活動水面：辻堂海浜公園 サザン池
- 海洋クラブ登録年：2018年度
- 種別：SUP/カヌー
- 母体団体：NPO法人

インクルーシブな

社会の実現を目指して

活動拠点である辻堂海浜公園でのユニバーサルカヌー体験会の実施や、近隣の小学校や各イベントへの出前授業を実施。ビーチクリーンや他団体と連携、水上清掃、リパークリーン、ビーチクリーンなど活動する水辺を中心にごみ拾いを定期的に実施。ごみ拾いで回収したマイクロプラスチックを利用したワークショップでは、ゴミだったものが、アクセサリーなど新たな価値あるものに生まれ変わることを実感してもらえるようなアップサイクルを行っている。

海や川など自然の中で遊ぶことを通じて、地球のどこに行っても自分の力で楽しむ力を仲間と共に身につける



申請条件 登録までの流れ

5つの条件！

水辺中心の自然体験活動

海・川・湖

器材保管場所

スタッフ

周知・PR



ご支援



上限50~200万円
活動器材を配備



事例発表 宮城県加美町



加美町長
石山 敬貴 様
略歴 ・昭和44年加美町生まれ
・東北大学大学院・農修了、博士
・理化学研究所研究員、衆議院議員、東北大学大学院・助教
・令和5年8月加美町長に就任（現在1期目）
趣 味：草刈り

本町は、宮城県の北西部に位置し、加美富士と呼ばれ本町のシンボルとなる「薬山山」がそびえ、清流「鳴瀬川」に育まれた田園地帯が広がりをみせるなど、四季折々の自然の変化を満喫できる自然豊かな町。
[住民満足度100%日本一]の加美町を掲げ、まちづくりを進めている。
人 口：21,043人
世 帯：8,277世帯（令和6年10月末日現在）
面 積：約461km²

ここがマイクロ視点！ 障がい者

施設のバリアフリー化や多目的室を新たに増築することで障がい者への自然体験活動の提供とバラスポーツの東北拠点化を目指し、障がい者への理解促進を促す学生向けイベントや指導者向けのバラカヌーサポート研修会などを実施。
「障がい者」という「個」に着目し、公共施設の在り方を示す。
果たして、「障がい者」も利用可能な施設改修と器材の配備により、付加価値を高めたB&G艇庫（公共施設）が加美町（地域）に与える影響とは。



マイクロ視点

利用者 地域性 高齢者・障がい者・子ども 更衣室 トイレ
いわゆる「ハコ」となる海洋センター（公共施設）の中身に着目。人や地域の特徴、構成する空間等のそれぞれの「個」に焦点を当て、公共施設が地域にどのような影響を与えているか。また、公共施設が人々にどのように貢献できるかをマイクロ視点から考える。

修繕助成事業



- 工事内容：
 - 一施設全体のバリアフリー化
 - 一事務室と多目的ルームの増設
 - 一障がい者用シャワー室の新設
 - 一多目的トイレの改修
- 工事総額：79,205,000円
- 修繕助成金額：30,000,000円

次世代型艇庫事業
●配備した器材
一障がい者用のカヌー
一シングル・ペアカヌー
一救助艇用ゴムボート
一マットやクッション材の積み木など
●配備総額：約200万円×2か年

海洋クラブ
[中新田B&GカヌーCLUB]
活動が低迷していたクラブを再起動！
2023年度からアップデートさせ、小学生を対象に絶賛活動中！

加美町中新田海洋センターは、2019年度～2021年度に財団助成を活用し、「誰もが一緒に楽しめる拠点」に生まれ変わった。施設内を全面バリアフリー化し、段差のないスロープや車椅子対応のシャワー室、多目的トイレを設置。また、事務所を新設することで、常駐スタッフを配置し、障がい者も安心して利用できる環境を整えた。
この事例は、高齢化や人口減少による利用者減を理由に休館や廃止を選択するのではなく、障がい者目線で、「建替え」「改修」「増築」することで、付加価値を高め、長期的な視点をもって、公共施設をアップデートし続けることの成果を示している。
リニューアルから約5年経過した今だからこそ、当初の盛り上がりを更新し続けている事例を発表いただく。

＝ ミクロ視点（障がい者）からみる公共施設の在り方 ＝ 特別施設整備と次世代型艇庫の活用事例



事例発表 北海道大樹町



大樹町長
黒川 豊 様

略歴 ・昭和36年大樹町生まれ
・大樹高校卒業
・昭和54年大樹町役場入職
・令和元年副町長
・令和5年大樹町長に就任（現在1期目）
趣味：読書、音楽鑑賞、スポーツテレビ観戦、絵画

大樹町は北海道の東部、広大な十勝平野の中にあつて、日高山脈より太平洋に注がれる清流「陸羽川」が町の中央を流れるなど自然豊かな町。また、農業を中心に漁業、林業を基幹産業とし、現在、JAXAをはじめ民間企業や大学等の宇宙航空関連の実験が「北海道スペースポート（HOSPO）」で行われるなど、官民一体となった宇宙のまちづくりを進めている。



ここがマクロ視点！

総合計画

当施設のリニューアルオープン（2023年5月27日）で、町長は、『他町村へのプールの視察、小中学校、水泳少年団など関係者への聞き取り、町議会の意見を踏まえ、より安全・安心に配慮した施設に生まれ変わった。新プールの完成を契機に第5期町総合計画の基本目標である「夢を育み学びの意欲を高めるまちづくり」を体現していきたい。』と話した。

地域全体からみた海洋センターの立ち位置に着目し、公共施設の在り方を示す。
果たして、B&Gプールを「屋内温水化と学校の隣に移設」するという地域の実情に応じたまちづくりの一環として実現させたことで、地域住民に与えた影響とは。

【第5期大樹町総合計画（2014～2023年）一部抜粋 第3章 「人が輝く」夢を育み学びの意欲を高めるまちづくり 第2部 生涯にわたり学ぶ 学びの支援
（2）スポーツ活動の推進（社会体育）
【基本方針】社会体育施設の計画的な改修整備を行い拠点を確認していくとともに、町民の日常的なスポーツ活動を推進するため、それぞれの年齢や体力に応じてスポーツを親しめる場の充実に努める。



大樹町海洋センターは、2023年度に財団助成を活用し、『学校に隣接する屋内温水プール』に生まれ変わった。建設以降、上屋シートの取り替えや鉄骨塗装など、その都度修繕しながら使用している状況だったが、老朽化による鉄骨部分の腐食などにより耐震性の劣化が激しく、今までの修繕方法だと、運営が厳しい状況にあった。この状況を打破すべく、早期に改築することとし、プールの在り方等についてプロジェクトチームを立ち上げた。地域全体からみた海洋センターの立ち位置として、利用者の80%が小学校児童であった実情から、『小学校の利用を中心としたプール』として、改めて役割を持たせ、建設場所を小学校近接とした。この事例は、施設の老朽化を起点として、まち全体から、この海洋センターの役割を追求した際に、『移設』することで、その目的達成が可能となったことを示している。地域の実情や総合計画からみた「海洋センター」の役割を再考した事例を発表いただく。

マクロ

まちづくり 計画 インフラ長寿命化計画 公共施設 理想・構想
公共施設等総合管理計画 マネジメント

地域全体からみた海洋センター（公共施設）のポジションに着目。社会全体や政策、総合計画の観点から、海洋センターが果たすべき広範な役割や長期的な持続可能性等を追求する必要性をマクロ視点で考える。

修繕助成事業

上屋付き屋外プール



屋内温水プール



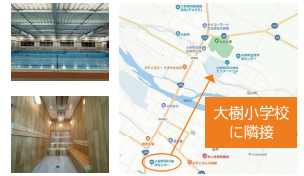
●工事内容：

- 一移設 一屋内温水化
- 一乾式採暖室、水中歩行対応レーン、
- 一観覧席、バリアフリートイレ、監視カメラ
- 地震時逆流防止装置、珪藻土ろ過装置 等

●工事総額：512,350,000円

●修繕助成金額：100,000,000円

●移設場所



＝ マクロ視点（大樹町総合計画）からみる公共施設の在り方 ＝ プール特別措置の活用事例

第21回 B&G全国教育長会議

部活動の地域“移行”から“展開”へ！

～指導者の確保は課題解決につながるのか？～

基調講演

地域部活動の新しい形の創出

～「学校部活動」を新たな「地域コミュニティ活動」へ～

一般社団法人 未来地図 代表理事 代田 昭久 様

- ・部活動の地域移行が進まない理由を「手段であるはずの部活動の地域移行が目的化しており、子どもたちの意見が尊重されておらず、目標から逆算できていない」と分析。
- ・推進のためには「指導者の確保」ではなく、「人材のネットワーク化」を目指し、自治体の垣根を越えた広域連携を図っていく必要がある」との見解を示され、多くの参加者が新しい気づきを得る講演となった。
- ・部活動改革を成功させるためには、子どもたちの意見を尊重し、好きなことを積極的に取り組める環境を用意することが重要。
- ・本会議を全国の教育委員会がつながるチャンスと捉え、みんなで力を合わせて、部活動改革に挑戦していきたいと述べられた。



第21回B&G全国教育長会議 「提言」

一、多様な活動ができる環境の整備

子どもたちが将来にわたり多様なスポーツや文化活動に親しめる環境を創り、地域活性化につなげよう

会議概要

実施日：2024年11月22日（金） 13時～17時

場 所：イノホール&カンファレンスセンター 4階（東京都千代田区）

参加者：45道府県238自治体より

教育長222名を含む総勢295名（過去最多）

執行部：会 長 兵庫県養父市 米田 規子 教育長（新任）

副会長 福島県埴町 秦 公男 教育長（新任）

副会長 高知県四万十町 山脇 光章 教育長（新任）



各種発表

◆事例発表：休日部活動の地域展開に向けた取組

新潟県佐渡市 教育長 香遠 正浩 氏



◆事例発表：

B&G海クラブ伊豆海洋クラブ 代表 酒井 厚志 氏

◆スポーツ庁より：部活動の地域連携・地域クラブ活動への移行に向けた環境の整備

スポーツ庁 地域スポーツ課 課長補佐 竹河 信裕 氏

新潟県佐渡市の香遠教育長は、生徒が自らの志向に合わせて選択できる「スキップ型」と「エンジョイ型」の地域クラブ活動について紹介し、地域人材の活用と育成に関する独自の取組を発表。B&G海クラブ伊豆海洋クラブの酒井氏は、下田中学校のサーフィン部の指導に当たった経緯や普段の活動状況、部活動が生徒に与える影響や地域にもたらす効果について発表した。スポーツ庁の竹河氏からは、2026年度以降は「改革実行期間」として、地域移行という名称を「地域展開」に変更し、地域の実情等に合った望ましい有り方の検討を進めていく方針を発表した。

参加教育長のご感想

- ◆会議内容がよく吟味され出席者のニーズにあったものであり大変参考になった。基調講演等により本町の取り組みも課題も明確になった。
- ◆優れた先進事例に触れ、本町の実態の解決を図る取り組みにつなげていく大きなヒントをいただいた。目の前の課題に正面から取り組んでいる方たちのお話を伺え、パワーをもらえた。
- ◆部活動の地域移行への根本的な考え方を考える発表を多数いただいた。
- ◆貴重な取組の情報習得と他の教育長さんとのつながりができる有意義な機会だった。
- ◆多くの教育長が参加し、テーマに基づく研修、情報交換ができたことは大いに役立った。次回以降も参加したい。

その他プログラムの様子





B&G全国指導者会 指導者の養成と活用



青森県南部町 町長、全国指導者会 会長 工藤 祐直 CE11期

- 略歴
- ・明治学院大学法学部法律学科卒業
 - ・昭和58年4月 名川町役場入庁
 - ・昭和58年12月 センター育成士（現CE）資格登録
 - ・昭和59年6月 海洋センター勤務（名川海洋センター竣工）
 - ・平成11年9月 名川町長就任（2期）
 - ・平成18年1月 「旧名川町」「旧南部町」「旧福地村」の合併により南部町誕生
 - ・平成18年2月 初代南部町長就任（現在5期目、通算7期目）

B&G指導者の重要性

■ 2025年度 センター・インストラクター養成研修（予定）

日程・場所：(1) 6月3日～7月5日 33日間 沖縄県本部町
(2) 9月12日～10月14日 33日間 鹿児島県天城町

対象：海洋センター担当配属予定者及び新センター担当者など

内容：カヌー、SUPなどの海洋性レクリエーションや水泳・実技及び指導法、施設管理、指導実習、心肺蘇生法 ほか

費用：1. 研修参加費 無料
2. 自治体から研修宿泊施設までの往復交通費（空港からの宿泊施設までのバス料金は自治体負担）
3. 研修期間中の宿泊費（33日間×11,000円税込、3食付き）

■ 今年度 研修参加者の声

- ◆体力的、精神的に成長できた研修だったと思います。地元に戻ってから、今回で学んだことを活かしていきたい。
- ◆今回の研修を受けて、指導してみたい気持ちと、地元でのBGの存在感を高めていきたいと思った。

■ センター・インストラクター養成研修の様子



毎日の日朝点呼



水辺の安全教室 指導実習



カヌー実技



障がい者 軽スポーツ実習

指導者研修へ定期的なご派遣をお願いいたします

地域指導者会における活動展開 ～B&G指導者の幅広い分野の取り組み～

新たな活動目標（2023年度～2025年度）

「自然体験活動を通じた郷土教育」

「食品ロス削減活動」



自然体験を通じた郷土教育



食品ロス 回収ボックス設置



水辺の安全教育



インクルーシブイベント

首長へのお願い（3Kの推進）

指導者の 研修派遣

指導者の 活動理解

指導者へ 言葉かけ

10

全国指導者会からの依頼事項



令和6年能登半島地震被災地支援事業「B&GフレンドシップPROJECT 2024」

B&G全国サミットの共同宣言にある「災害時における相互応援」に基づき、令和6年能登半島地震震災直後から全国の防災拠点に配備した重機を現地に派遣。また「穴水町」「志賀町」「七尾市」の復旧・復興を支援するため「災害時に配慮を必要とする方々への支援」・“被災犠牲者とその家族への支援”・“災害対応にあたる行政職員等への後方支援”を柱とする「B&GフレンドシップPROJECT2024」を設立。海洋センター所在自治体をはじめ、民間事業者やYahooネット募金などを通じ23,000,000円を超える支援金が寄せられている。ご協力いただきました皆様にはこの場をお借りして御礼申し上げます。

遊び場・運動機会を失った子どもたちへの支援

災害時要配慮者・震災遺族等への支援

マリンスポーツ体験等の提供



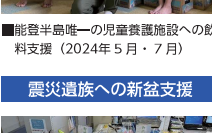
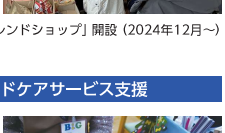
子どもの遊び場・体験活動の提供



仮設住宅団地の買い物支援



児童養護施設への飲料寄贈



- B&Gわくわく水上運動会 for 七尾（2024年3月）
- B&Gわくわく水上運動会 for 志賀町（2024年4月）
- B&Gプールdeマリンスポーツ体験会（2024年11月）

- B&Gプレイパーク in 穴水（2024年7月）
- 志賀町商工祭重機試乗及び写真撮影会（2024年10月）

■仮設住宅団地の買い物支援「B&Gフレンドショップ」開設（2024年12月～）

■能登半島唯一の児童養護施設への飲料支援（2024年5月・7月）

高齢者施設訪問ハンドケアサービス支援



震災遺族への新盆支援



■高齢者施設への福祉ネイリスト派遣による女性の心のケア（2024年12月）

■中江理事のメッセージカードとご遺物の支援（2024年8月）

障がい児等への運動支援



■B&Gスポレクチャレンジフェスタ＜協力：日本財団HEROs ほか＞（2024年12月）

参加者のコメント

- ◆震災後、町内の公園が仮設住宅になったり、公園も被災したりで外遊びの機会が以前より減っていました。今回、普段遊んだ事のない遊具が沢山あり子どもとも楽しんでおり、大変ありがたく思っております。親子共々夏の思い出となりました。全国から駆けつけてくださった運営スタッフの皆さま、支援物資をお寄せくださった全国の支援者さま、本当にありがとうございました。（B&Gプレイパーク in 穴水 参加者）
- ◆震災後、全国から支援物資は多く頂き有り難かったです。でも、こどもたちの心が満足できるのは、体験だと思いました。我が子も、今回の参加でびっぴりするほど元気に溢れて帰ってきました。（B&Gわくわく水上運動会 参加者）
- ◆障害のある子どもたちのためのイベントをありがとうございました！（B&Gスポレクチャレンジフェスタ 参加者）

2025年度は15ヶ所(予定)限定募集!

熱中症対策における特別支援事業

近年、温暖化による猛暑の影響で、プールの室内温度が50度を超えるところも出てきており、利用者の熱中症の危険性が高まっている。
そのため2023年度から、プールに冷暖房付きの救護室や救護備品を配備する特別支援事業を実施。平時は保護者や見学者の休憩室として、急病人が出た際は救護室として活用。寒冷期は採暖室としても活用可能。

★配備内容：

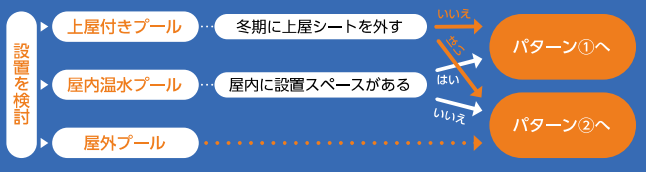
冷暖房を備えた救護室、熱中症予防・対策に係る救護備品等
※現物支給(財団発注)。

★自治体の費用負担：

エアコン・照明を備えた救護室への電気引込工事費用、運用における電気代
※屋外に設置する場合、基礎工事(必須)は自治体負担。

★申請対象：プールを保有する海洋センター(特A評価以上)

※上屋付きプールに限らず、屋内温水プール、屋外プールも対象。



パターン①

【プール屋内に設置】



パターン②

【プール屋外に設置】



※積雪地域にも対応
※基礎工事必須

(日本財団助成申請中につき、事業の決定は年度末となるため、各事業詳細は改めてご案内いたします。)

漂着ごみ専用ごみ箱「B&G拾い箱」設置事業

～みんなの手で海の環境を守ろう～

5自治体募集!(予定)

漂着ごみ専用ごみ箱「B&G拾い箱」の設置を2021年度から実施。今年度までに全国14自治体が設置。拾い箱の設置を通じて、地域住民をはじめ、だれもがいつでも清掃活動できる環境を整えるとともに、清掃活動を通じた海の環境保全への意識の醸成を図ることを目的として実施している。また、海洋ごみの約8割が街中から川を経て海へ流れ出たものであるとされていることから、2025年度からは海以外の水辺(河川・湖沼等)への設置も助成対象とする。

事業概要

- ・B&G財団と自治体の連携、協働による拾い箱の設置(計画～製作・設置)
- ・拾い箱お披露目式と清掃イベントの開催
- ・拾い箱の定着と地域住民等への環境保全意識向上に向けた周知活動

対象経費

項目	支援金額
・拾い箱の製作及び看板等設置費	190万円
・お披露目式の開催及びその他費用	25万円
・拾い箱の設置に係る運搬代	15万円
・拾い箱製作に係る消耗品代	3万円

計233万円(上限)/自治体 助成!!

●拾い箱のここが気になる…!

Q1. 拾い箱の管理はどかが担当していますか?

A1. B&G海洋センターやセンター担当部署のみならず、環境担当部署等とも連携した取り組みをお願いしています。

Q2. 設置後のランニングコストは?

A2. ごみの輸送費など、年間0円～5,000円程度の自治体が多いです。(人件費は除く)

Q3. 不法投棄や家庭ごみの持ち込みが心配です…。

A3. 海洋センターなど人の目につくところへの設置、夜間は施錠する、防犯カメラを設置するなどの対策事例があります。

その他、不明点等ございましたらお気軽に海洋センター・クラブ課までお問い合わせください。



防災拠点による災害時相互支援のご案内

～隙間のない被災地支援を目指して～

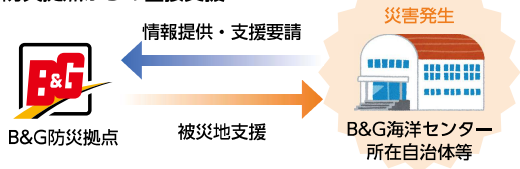
2021年度から自治体間の災害時相互支援体制構築を目指し、全国に重機や防災倉庫を備えた「防災拠点」の整備を進めている。防災拠点では、当該自治体の災害時はもちろん、周辺自治体が被災した際に迅速で効果的な災害対応を行うため、資機材の配備だけでなく、それらを扱う研修も定期的を実施している。B&G財団と防災拠点が連携し、隙間のない被災地支援を実現するため、以下の通り被災地支援を行っている。もし、皆さまの自治体において災害が発生し、支援のご要望がございましたらB&G財団もしくはお近くの防災拠点にご相談ください。なお、防災拠点を整備した自治体や資機材の一覧は、右下のQRコードからご確認ください。

1. 支援概要

①B&G財団を介した支援



②防災拠点からの直接支援



2. 防災拠点が保有する資機材

油圧ショベル・スライドダンプ・救助艇・その他自治体任意機材(ドローン・チェーンソー等)



3. 防災拠点による支援実績(一部抜粋)

災害	時期	被災地	支援拠点	支援内容
能登半島地震	2024年1月1日	石川県珠洲市 輪島市 能登町 穴水町 志賀町 七尾市	青森県鶴田町・宮城県石巻市・福島県福町・群馬県利根町・岐阜県可児市・長野県上松町・長野県大町市・静岡県牧之原市・愛知県新城市・滋賀県野洲市・福井県大野市・石川県白山市・兵庫県南あわじ市 計13自治体	日本財団が被災地の支援ニーズを集約。B&G財団が全国の防災拠点から資機材を派遣する等、両財団が協力して被災地支援を行い、計16台のスライドダンプを被災地に届けた。
令和5年度7月豪雨	2023年7月	秋田県五城目町	宮城県石巻市	大雨による泥の除去や災害ごみの運搬等に課題を抱えた秋田県五城目町に対して、宮城県石巻市からスライドダンプと油圧ショベルが届けられた。



防災拠点情報や支援要請等はこちらから!






自治体派遣研修生の紹介

この制度は、海洋センター所在市町村の自治体職員を財団に1年間ご派遣いただき、財団事業や研修等に参加いただく研修制度。地方行政とは異なる業務に携わることによって幅広い視野を持った人材の育成を図ることなどを目的としている。

- ◆研修期間：1年間（4月～3月）
- ◆財団負担費用：都内マンション代、研修に係る経費等（総額約300万円）
- ◆自治体負担費用：着任時（4月）・帰任時（3月）の旅費、給与（費与）
- ◆研修内容：センター・インストラクター養成研修参加
2級小型船舶操縦免許取得・安全教室等での現場指導
各種研修参加・財団事業の企画運営 他

この1年間の研修は本人にとっても貴重な経験となりますので、是非ともご検討ください。

北海道愛別町からの出向



事業部
海洋センター・クラブ課
に配属

廣富 光晟 Hirofumi Mitsunaga

私は、主に「拾い箱」を担当しています！


- ・拾い箱の設置自治体との調整
- ・砂ASOBeachの新規開催地との調整・運営
- ・海ごみゼロフェスティバルの支援金業務
- ・全国サミットの運営 etc...

教育長会議の司会を務めました


11月22日に行われた「第21回B&G教育長会議」では、全国から295名の大勢の参加者の皆様の前で司会を務めさせていただきました。

今まで、こんなにも大勢の方の前で話す機会は無かったので、非常に緊張しましたが、会議前に何度も司会台本を読み合わせたり、会議全体の流れを頭に入れておいたりすることで、スムーズに進行できたと思います。自治体での勤務では、なかなかできない経験をしました。

これほど規模の大きい会議の運営に携わるのは初めてで、事前準備や当日の運営方法なども学ぶことが多くあったため、今回で習得したノウハウは、自治体に戻ったときに、町民の皆様を集めて説明会等を開く際に役立てたいと思います。



岡山県奈義町からの出向



事業部
海洋センター・クラブ課
に配属

香山 和寛 Kouyama Kazuhiko

私は、主に「砂ASOBeach」を担当しています！


- ・海ごみゼロフェスティバルの実績とりまとめ
- ・拾い箱設置に係る助成金業務
- ・砂ASOBeachの継続開催地との連絡調整・運営
- ・全国サミットの運営 etc...

砂ASOBeachの運営


地域と連携した海岸イベント「砂ASOBeach」にて、開催していただいた地域との調整やイベントの運営等を担当させていただきました。

今年度支援を行った新規開催地6ヶ所の内、4ヶ所の当日のイベント運営や事前準備等に伺わせていただきました。

各センター・クラブの活動水面に合わせて、SUPやバナナボートなど、海上でのレクリエーション体験や、プレスコボールや貝殻アートといった砂浜でのレクリエーションなど、開催地ごとに特色あるプログラムで実施され、参加した地元の小・中・高校生や親子などみんな笑顔で非常に楽しいイベントとなりました。



鹿児島県天城町からの出向



企画部企画広報課
に配属

松岡 秀子 Matsuoka Hideko

私は、主に「広報」を担当しています！


- ・公式HP防災記事作成、プレスリリース作成
- ・公式HPメルマガの発信
- ・公式Instagram運用（投稿、集計、分析の発信）
- ・アナビバグランプリ etc...

能登半島地震における被災地支援企画

能登半島地震における被災地支援事業の一環として、海洋センター所在自治体や企業・一般の皆様から寄せられたご寄付を活用したネイルアートやハンドケアの提供の企画を立案し、実施しました！

私が考案したのは、「福祉ネイリスト」という資格をお持ちの、被災者や高齢者の心的疲労の軽減や心のケアに特化している方々にご協力を得て、穴水町の高齢者施設職員、入居者の皆様へ、ハンドケアなどの施術機会を提供するものです。

また、2月には志賀町文化ホールにて、住民の皆様にお越しいただき、福祉ネイリストによる施術を体験していただく予定です。



20年連続・10年連続 特A評価獲得センター

海洋センター評価は、各施設の管理・運営面を把握し、今後の活動の活性化に役立てるとともに、B&G財団が行う支援活動の指標とすることを主な目的として、2003年度から導入している。

評価は最優良である特AからEまでの6段階で、第17回「B&G全国サミット」では、2023年度評価において特A・A評価を獲得したセンターを表彰。

20年連続特A評価センター

1 広島県府中市 B&G海洋センター	小野 申人 市長		2 愛媛県愛南町御荘 B&G海洋センター	中村 維伯 町長	
--------------------	----------	--	----------------------	----------	--

10年連続特A評価センター

1 北海道小平町 B&G海洋センター	関 次雄 町長		12 新潟県佐渡市小木 B&G海洋センター	渡辺 竜五 市長	
2 北海道遠別町 B&G海洋センター	国部 雅人 町長		13 富山県富山市八尾 B&G海洋センター	藤井 裕久 市長	
3 北海道北竜町 B&G海洋センター	佐々木康宏 町長		14 福井県坂井市丸岡 B&G海洋センター	池田 禎孝 市長	
4 北海道芦別市 B&G海洋センター	荻原 貢 市長		15 岐阜県中津川市福岡 B&G海洋センター	小栗 仁志 市長	
5 北海道上富良野町 B&G海洋センター	斉藤 繁 町長		16 岐阜県富加町 B&G海洋センター	渡邊 圭太 町長	
6 青森県平川市尾上 B&G海洋センター	長尾 忠行 市長		17 静岡県沼津市戸田 B&G海洋センター	頼重 秀一 市長	
7 岩手県洋野町種市 B&G海洋センター	岡本 正善 町長		18 愛知県豊川市小坂井 B&G海洋センター	竹本 幸夫 市長	
8 秋田県由利本荘市西目 B&G海洋センター	湊 貴信 市長		19 滋賀県多賀町 B&G海洋センター	久保 久良 町長	
9 埼玉県吉見町 B&G海洋センター	宮崎 善雄 町長		20 愛媛県今治市朝倉 B&G海洋センター	徳永 繁樹 市長	
10 新潟県新潟市味方 B&G海洋センター	中原 八一 市長		21 福岡県大任町 B&G海洋センター	永原 譲二 町長	
11 新潟県新潟市新津 B&G海洋センター					



20年連続特A評価獲得センター

広島県府中市B&G海洋センター



府中市長
小野 申人 様

この度は、20年連続での特A評価をいただき厚くお礼申し上げます。全国でも数例のみの今回の受賞は、ご利用される市民の皆様の愛情と、施設を支える職員の努力の成果と考えております。現在、貴財団の助成制度も活用した新施設を建設しており、本年7月より運営を引き継ぐとともに、前施設以上に市民の皆様にあられる施設となるよう、尽力してまいります。

～現場のスタッフから～

このたび、20年連続で特A評価を受賞することができ、大変光栄に思います。この成果は、スタッフ、担当者の努力のみならず地域の皆様のご支援の賜物だと思っております。現施設は昭和52年の開所以来47年間地域の皆様に愛されてきました。来年度、新たな施設としてスタートすることになります、現状に甘んずることなく、努力、工夫を重ねさらに精進してまいります。誠にありがとうございます。



愛媛県愛南町御荘B&G海洋センター



愛南町長
中村 維伯 様

この度は、20年連続「特A」評価による表彰を賜り、誠に光栄に存じます。また、これまでのB&G財団関係者の皆様によるハード・ソフト両面における多大の御支援に対し、厚く感謝申し上げます。今後もB&G財団の重点事業等に積極的に取り組み、まちを元気に、ひとを元気にしていくため、幅広い活動を展開してまいります。

～現場のスタッフから～

B&G財団の推進する事業の継続とその実績が認められ、20年連続「特A」評価による表彰を受けることとなり、歴代指導者ならびに職員一同、大変うれしく思います。今回の表彰を励みに、青少年の健全育成はもとより、町民の健康寿命延伸のため、「愛南町御荘B&G指導者会」と更なる連携を図り、各種事業に取り組みんでいき、地域の皆様から愛される施設となるよう努めていきます。



2023年度 優良海洋センター表彰

■ 特A評価 306カ所

※ 橙…10年以上連続特A 青…9年連続特A 緑…8年連続特A

■ 「特A評価」海洋センター 306カ所
■ 「A評価」海洋センター 77カ所
■ 評価期間：2023.4.1～2024.3.31

No.	ブロック	道府県	センター名	連続特A獲得年数	No.	ブロック	道府県	センター名	連続特A獲得年数	No.	ブロック	道府県	センター名	連続特A獲得年数	No.	ブロック	道府県	センター名	連続特A獲得年数
1			砂川市	16	48	岩手	奥州市前沢	12	95	関東	千葉県	横芝光町横芝	16	142			可児市	17	
2			小平町	10	49		一関市藤沢	11	96			香取市小見川	14	143			恵那市明智	14	
3			厚岸町	13	50		登米市中田		97			大多喜町	14	144			川辺町	9	
4			剣淵町	14	51		涌谷町		98			香取市業源	8	145			八百津町	18	
5			大樹町	16	52		泉理町	15	99			南房総市千倉		146			中津川市福岡	10	
6			鷹栖町	15	53		松島町		100			成田市大栄	11	147			御嶽町	13	
7			斜里町	13	54		川崎町	15	101			香取市山田		148			富加町	10	
8			鰺別町	15	55		大郷町	14	102			館南町	15	149			中津川市加子母	13	
9			滝別町	10	56		大崎市松山	8	103			横芝光町光	16	150			中津川市付知	13	
10			新篠津村	9	57		蔵王町	17	104			胎内市中条	15	151			掛川市大東	12	
11			大空町東藻琴	14	58		登米市泊		105			阿賀町三川		152			掛川市	16	
12			北福町	10	59		加美町中新田		106			佐渡市小木	10	153			磐前市竜洋		
13			下川町		60		にかほ市金浦		107			燕市	12	154			川根町本川根	8	
14			東神楽町	9	61		男鹿市	12	108			阿賀野市安田		155			牧之原市相良	14	
15			名寄市風連	13	62		由利本荘市西白	10	109			上越市頸城	8	156			駒形市		
16			種丹町	15	63		八郎潟町		110			糸魚川市能生		157			磐前市大須賀		
17			戸別町	10	64		大湯村		111			新潟市中之口	9	158			御前崎市		
18			長万部町		65		由利本荘市由利	9	112			新潟市味方	10	159			沼津市戸田	10	
19			上富良野町	10	66		にかほ市象潟	14	113			新潟市新津	10	160			浜松市三ヶ日		
20			東川町		67		舟形町	12	114			砺波市	13	161			新城市作手	14	
21			美幌町	15	68		酒田市平田	13	115			南砺市福野	17	162			東栄町	14	
22			大空町女満別	14	69		柳津町		116			富山市八尾	10	163			清須市春日		
23			石狩市	17	70		小野町	17	117			穴水町	16	164			西尾市一色		
24			浦白町	14	71		瑞町	11	118			志賀町富栄	14	165			豊川市小坂井	10	
25			秩父別町		72		田村市滝根		119			白山市鶴来		166			大紀町大内山	8	
26			沼田町	13	73		かがみうら市千代田		120			越前町朝日		167			美濃市長島	14	
27			岩見沢市栗沢		74		小美玉市玉里		121			勝山市		168			伊勢市御園		
28			吉前町	13	75		八千代町		122			あわら市金津		169			菟野町	14	
29			滝川市	22	76		北茨城市	12	123			大野市	13	170			熊野市紀和	15	
30			古平町	14	77		石岡市	8	124			坂井市春江	8	171			志摩市志摩	11	
31			室蘭市	8	78		五稜町	14	125			坂井市丸岡	10	172			伊賀市大山田		
32			弘前市	13	79		小美玉市小川	8	126			甲州市勝沼		173			伊賀市阿山		
33			平川市尾上	10	80		常陸太田市水府	8	127			中央市玉穂		174			志摩市浜島		
34			鶴田町	11	81		下野市国分寺	13	128			山梨市牧丘	14	175			魚山町		
35			南部町名川	21	82		南アルプス市南那須	14	129			南アルプス市白根	14	176			野洲市主中	14	
36			平内町		83		さくら市喜連川		130			甲斐市敷島	13	177			米原市山東	16	
37			五所川原市金木		84		芳賀町	18	131			甲斐市双葉	14	178			多賀町	10	
38			六戸町	14	85		みなかみ町新治		132			甲州市塩山	14	179			高島市高島		
39			中泊町中里		86		明和町	17	133			大田市	14	180			甲斐市甲南		
40			弘前市若木	8	87		玉村町	17	134			下條村		181			米原市伊吹	14	
41			山田町		88		吉見町	10	135			白馬村	12	182			長浜市浅井	8	
42			久慈市山形	15	89		幸手市		136			飯綱町牟礼		183			高島市津津	16	
43			一関市東山	12	90		飯綱町	9	137			飯綱町	8	184			甲斐市甲斐		
44			岩泉町		91		久喜市栗橋	21	138			上松町	9	185			近江八幡市安土		
45			洋野町種市	10	92		松伏町	14	139			飯綱町三水	8	186			南丹市園部		
46			八幡平市松尾		93		白岡市	14	140			阿南町		187			南あわじ市南淡	17	
47			大船渡市三陸	8	94		いすみ市	9	141			松本市波田	15	188			宗粟市千種	8	

No.	ブロック	道府県	センター名	連続特A 獲得年数	No.	ブロック	道府県	センター名	連続特A 獲得年数	No.	ブロック	道府県	センター名	連続特A 獲得年数	No.	ブロック	道府県	センター名	連続特A 獲得年数
189	近畿	兵庫	新温泉町浜坂	243	四国	徳島	東みよし町三加茂	8	南九州	鹿児島	長島町	16	南九州	南大隅町佐多					
190			豊岡市出石	8			244	美波町由岐			8	298		阿久根市	12	303	鹿島町	11	
191			市川町	245			245	那賀町野茂			13	299		さつま町	15	304	与論町	15	
192			養父市おおや	12			246	海陽町海南			9	300		日置市東市来	16	305	奄美市笠利	8	
193			上郡町	16		247	さぬき市津田		301	天城町	13	306	沖繩	名護市					
194		豊岡市竹野	248	香川		小豆島町内海	15	徳島	鬼北町広見		徳島	徳島市国分寺	8						
195		香美町香住	16			249	さぬき市寒川			250		三豊市高瀬		251	三豊市財田				
196		姫路市家島	8			250	綾川町椽上			252		三木町	8	253	今治市吉海				
197		淡路市桑浦				251	久万高原町久万			254		松山市中島	17	255	松山市中島	17			
198		穴栗市波賀				252	北条町丹原		8	256		西条市丹原	8	257	愛南町御荘	20			
199		戸部市				253	美濃町御荘		20	258		今治市朝倉	10	258	津野町東津野	15			
200		福寿川町	15			254	津野町東津野		15	259		宮若市宮田		259	四十万町窪川	16			
201		串本町	15		255	宮若市宮田			260	みやく町窪川			260	大任町	10				
202		鳥取市	13		256	大任町	10		261	築上町築城		11	261	美上町豊津					
203		鳥取市気高			257	築上町築城	11		262	みやく町豊津			262	久留米市三瀬	9				
204		鳥取市鹿野			258	みやく町豊津			263	川崎町		8	263	朝倉市甘木	15				
205		北条町北条	14	259	久留米市三瀬	9	264	川崎町	8	264	太良町	11							
206		伯耆町岸本	14	260	川崎町	8	265	朝倉市甘木	15	265	神崎市	16							
207		松江市松江	9	261	川崎町	8	266	太良町	11	266	鹿島市	8							
208		津江市桜江	15	262	川崎町	8	267	神崎市	16	267	みやま町北茂安								
209		浜田市三隅	15	263	川崎町	8	268	鹿島市	8	268	南島原市加津佐	9							
210		雲南市市加茂	18	264	川崎町	8	269	みやま町北茂安		269	南島原市西有家								
211	岡山市建部	8	265	川崎町	8	270	神崎市	16	270	時津町	16								
212	備前市吉永	12	266	川崎町	8	271	神崎市	16	271	杵築市									
213	新見市哲多		267	川崎町	8	272	鹿島市	8	272	宇佐市安心院									
214	井原市美星	9	268	川崎町	8	273	みやま町北茂安		273	宇佐市安心院									
215	津山市市加茂	12	269	川崎町	8	274	南島原市加津佐	9	274	津田市耶麻溪	12								
216	津口市奇島		270	川崎町	8	275	南島原市西有家		275	国東市国見									
217	美作市作東		271	川崎町	8	276	時津町	16	276	豊後高田市貴玉									
218	井原市井原	13	272	川崎町	8	277	杵築市		277	由布市挾間									
219	浅口市輪方		273	川崎町	8	278	宇佐市安心院		278	長洲町	14								
220	新見市美星	9	274	川崎町	8	279	津奈木町	13	279	津奈木町	13								
221	瀬戸内市長船	17	275	川崎町	8	280	湯前町	15	280	湯前町	15								
222	瀬戸内市昆久	17	276	川崎町	8	281	湯前町	15	281	湯前町	15								
223	矢掛町	15	277	川崎町	8	282	湯前町	15	282	湯前町	15								
224	鏡野町	15	278	川崎町	8	283	湯前町	15	283	湯前町	15								
225	赤磐市吉井	14	279	川崎町	8	284	湯前町	15	284	湯前町	15								
226	新見市大佐		280	川崎町	8	285	湯前町	15	285	湯前町	15								
227	府中市	20	281	川崎町	8	286	湯前町	15	286	湯前町	15								
228	東広島市黒瀬	12	282	川崎町	8	287	湯前町	15	287	湯前町	15								
229	呉市蒲刈		283	川崎町	8	288	湯前町	15	288	湯前町	15								
230	安芸高田市高宮	8	284	川崎町	8	289	湯前町	15	289	湯前町	15								
231	尾道市向島		285	川崎町	8	290	湯前町	15	290	湯前町	15								
232	北広島町大朝		286	川崎町	8	291	湯前町	15	291	湯前町	15								
233	北広島町芸北	8	287	川崎町	8	292	湯前町	15	292	湯前町	15								
234	東広島市安芸津	12	288	川崎町	8	293	湯前町	15	293	湯前町	15								
235	萩市むつみ		289	川崎町	8	294	湯前町	15	294	湯前町	15								
236	山口市		290	川崎町	8	295	湯前町	15	295	湯前町	15								
237	長門市日置	9	291	川崎町	8	296	湯前町	15	296	湯前町	15								
238	周防大島町	18	292	川崎町	8														
239	石国市美和	9	293	川崎町	8														
240	阿南市那賀川	9	294	川崎町	8														
241	徳島市	16	295	川崎町	8														
242	阿南市	9	296	川崎町	8														

※ 橘…10年以上連続特A 青…9年連続特A 緑…8年連続特A

■ A評価 77カ所

No.	ブロック	道府県	センター名	No.	ブロック	道府県	センター名				
1	北海道	北海道	枝幸町歌登	40	中部	三重	いなべ市大女				
2			名寄市	41			宮津市				
3			和寒町	42			京丹波町和知				
4	青森	青森	五所川原市市浦	43	近畿	大阪	堺市美原				
5			十和田市	44			能勢町				
6			九戸村	45			丹波篠山市				
7			舊代村	46			丹波市山南				
8			花巻市東和	47			奈良	曾根村			
9	宮城	宮城	陸前高田市	48	和歌山	和歌山	広川町				
10			登米市米山	49			鳥取市佐治				
11			東原市築館	50			美郷町邑智				
12			能代市	51			松江市穴道				
13			湯上り天主	52			岡山市	真庭市緑山			
14			由利本荘市大内	53			安芸高田市八千代				
15			海上市飯田川	54			安芸高田市美土里				
16			三穂町八尾	55			徳島	牟岐町			
17			福島	56			愛媛	今治市大三島			
18			関東	茨城			笠間市岩間	57	福岡	福岡	柳川市大和
19							鹿沼市栗野	58			宗像市玄海
20	那須塩原市塩原	59			みやま市高田						
21	板倉町	60			飯塚市穂波						
22	千葉	61			みやま市高瀬						
23	阿賀町津川	62			福岡	福岡市金田					
24	阿賀町上川	63			筑上町植田						
25	佐渡市羽茂	64			佐世市小佐々						
26	上市町	65			平戸市生月						
27	岩手	66			大分	白田市天瀬					
28	北陸	富山	富山市大山	67	熊本	熊本	竹田市直入				
29			高岡市福岡	67			美里町砥用				
30			石川	7尾市			68	あさひ町野田			
31			福井	若狭町三方			69	日南市南郷			
32			長野	長野			富士見町	70	宮崎	宮崎市田野	
33							飯田市南信濃	71	鹿原市串良		
34							山形市	72	薩摩川内市樋脇		
35							山形市	73	志布志市有明		
36	松本市四賀	74			薩摩川内市上壱						
37	恵那市山岡	74			本那町						
38	高山市清見	75	うるま市勝連								
39	袋井市袋井	76									
40	静岡	浜松市天竜	77								
41	三重	大台町									

来年度開催する会議関係の日程

「ブロック連絡協議会総会」

全国各ブロック内に所在する海洋センター等によって構成される「ブロック連絡協議会」が主催する会議。
例年、事業計画や決算報告、予算の審議・承認などが行われるほか、B&G財団より当該年度事業説明等を行う。

対象：海洋センター所在市町村の市町村長、教育長、海洋センターご担当者



ブロック	ブロック総会開催地 日程(予定)	ブロック	ブロック総会開催地 日程(予定)
北海道	開催地：北海道砂川市 日程：4月17日(木)	近畿	開催地：大阪府能勢町 日程：5月19日(月)
東北	開催地：秋田県湯沢市 日程：5月20日(火)	中国	開催地：鳥取県鳥取市 日程：5月15日(木)
関東	開催地：東京都港区 日程：5月9日(金)	四国	開催地：高知県高知市 日程：5月12日(月)
北陸	開催地：富山県氷見市 日程：5月22日(木)	北九州	開催地：長崎県長崎市 日程：5月16日(金)
中部	開催地：静岡県磐田市 日程：5月28日(水)	南九州	開催地：宮崎県宮崎市 日程：5月16日(金)

第22回 B&G全国教育長会議

海洋センター所在自治体の教育長を対象に、教育現場が抱える今日的な課題について議論するとともに、B&G財団や海洋センターへの理解を促進することで、相互の連携強化を図ることを目的とした会議。

日時：2025年11月13日(木)
場所：東京都内
対象：地域海洋センター所在市町村の教育長 他
内容：事例発表、教育専門家による講演 等



第18回 B&G全国サミット

全国の海洋センター所在自治体の市町村長、教育長をはじめとする海洋センター関係者を対象に、財団と自治体、また自治体同士のネットワーク強化ならびに会議内で決定する共同宣言の推進を図ることを目的とした会議。

日時：2026年1月23日(金)
場所：東京都内
対象：地域海洋センター所在市町村の市町村長、教育長 他
内容：基調講演、優良海洋センター表彰 等



誰もが「利用できる」から
「利用したくなる」施設づくり

海洋センターを取り巻く地域社会のニーズを
汲み取り、付加価値をつけることで、
より魅力的な施設にアップデートしよう。



第17回 B&G全国サミット

共同宣言（案）

20

共同宣言

